



開会あいさつでは、運転協・後藤事務長から「運転職場で、どう運動を国労がつくっていくのか、職場の問題点を話し合っただけで深めていきたい」と、あいさつがありました。



第21回国労東日本本部・運転職場交流会が10月25、26日新潟県「メイワサンピア」で開催、各地方から56名が出席、新潟から21名が出席しました。

# どう運動をつくっていくか



NO. 710  
発行  
10・11月10日  
国鉄労働組合  
新潟地方本部  
発行責任者  
関川 和彦  
編集責任者  
教 宣 部

第21回国労東日本本部  
運転職場交流会  
10月25～26日

## 木立議長あいさつ

### 最大の任務は 検修外注化 の問題



毎年各地方で開催している。今年で21回目になる。JRになってから毎年開催している。10月14日に定期委員会を開催、役員全員が留任した。今年も議長となった。最大の任務は検修外注化の問題だ。

検修外注化について、職場で提案内容を把握すること。宣伝行動の強化、具体的内容を知らしていく。説明交渉を実施し、その後に要求を提出した。第2次説明交渉を実施するが、各地方での問題について反映していきたい。出し合っで欲しい。

偽装請負～これにならないように会社を追及指揮命令系統など、深夜帯に問題がある。分会の活性化について、退職が進む中で分会の活動が停滞している。拡大について、どう分会で取り組んでいくのか、議論していく。安全問題に対して、多数派をつくっていく。そこから拡大につなげていく。国労として、どうすることができるか議論していきたい。

座長には、新潟運転協・田辺事務長を選出し交流会を進めていきました。その後、新潟地本関川委員長、石津新潟運転協・議長、木立東日本本部運転協・議長のあいさつがあり、エリア本部から武笠執行委員あいさつ、矢部執行委員から労働協約についての講演がありました。休憩をはさんで、職種ごとに5つの分散会に分かれて、職場の状況や問題点について意見交換をしました。二日目は、各地方からの報告。

分散会の報告・木立議長の全体のまとめがあり11時頃終了しました。石津議長のあいさつは「現在、職場で問題になっているものや各地方の状況、多くの具体的要求や統一要求について、どう取り組んでいくのか、二日間の交流会の中で深めていきたい」とありました。

## 石津議長あいさつ

関川委員長のあいさつは「検修合理化・外注化、委託化に対してどう闘っていくのか。委託、請負など法令的にチェックしていくのが労働組合の責任だ。派遣は、さまざまな制約があるが、請負は雇用契約が無い。検修外注化に対して議論を集中し交流を深めて欲しい。そして、機関の運動に反映させて欲しい」とありました。



## 関川委員長あいさつ

偽装請負～この問題で事故が多発している。その関係で労働協約の問題が議論されている。団交後の後始末が具体的にやられているのか。言いつ放しになっているのではないか。労使合意になっているか。労働協約は必要ではないか。などあいさつがありました。



武笠執行委員あいさつ  
エリア本部・武笠執行委員から情勢報告などありました。その中で、冬季手当について5ヶ月を10月21日にJR各社に申し入れを行った。年末手当に対しての取組を強化していく。検修外注化について第2次説明へ職場では具体的な動きが無い。



# 運転協交流会二日目

交流会二日目は、9時から各地方の報告から始まり、そして分散会の報告がありました。

各地方・分散会の報告から

検修外注化について、対策委員会の設置、学習の強化を進めている。各分会で学習してきた。第一次解明要求について職場で議論、調査をやっている。各職場から説明員を出して団交に臨む。

検修外注化は利用者のサービスになるのか。安全の確保ができるのか。

会社は利益追及だけだ。労働者を犠牲にする会社経営に対して社会全体を考えながら運動を進め、交流を深めながら、いろんな取り組み・運動を進展させていく。

労働環境を改善していくには直接グループ会社へ交渉をしていく必要がある。地方から声を上げていく。

外注会社で、作業責任者が兼務で作業をやっていた。作業責任者は兼務はできない。今年から2人体制になった。労基署の活用や団交の強化をしていく。団交のあとに現場の状

## 山脈集 推薦作品

堀 松白 選

甘言に乗ってしまった蜘蛛の糸	大村 美千子	悪魔の返事パソコンより嬉し	関 根 尾 幸
役に立つことがうれしい老いの汗	伊 東 マ コ	銀世界来たなと北の肝座る	宇 野 幹 雄
産産を唄い痴呆に向きはじめ	笠 原 高 二	突放車むかしはなが終らない	佐 藤 康
鉛筆の杖は時どき立ち止まる	中 塚 礎 石	今とても幸せですと老いふたり	吉 尾 昭 史 郎
元目を吉にしておく雑煮餅	上 田 千 路	北はもう雪です凍てつく雪菩薩	辻 敬 子
ほどほどに余白の捻子を巻いている	渡 邊 正 治	ゼロになる覚悟が出来てから強い	北 川 拓 治
平凡な日々です今日も水を飲む	石 原 恵 美 子	正直な体重計におだてられ	山 田 不 及
作句する見たこともない蠟の汗	太 田 健 次 郎	限界の集落に住む父と母	斉 藤 芳 坊
瞬きも口の動きも良い兆し	高 橋 純 子	切り張りの障子で老いは悪びれず	大 島 和
幸せな家庭が分かる句碑の文字	古 川 雷 水	先代の汗にはすまぬ休耕田	山 本 善 隆



## 文芸特集

況を調査し徹底させたい。



外注化について地本で対策委員会を設置した。JALの全面外注化について学習会を開催した。日航の実態を見学、現場労働者と交流を深めた。何ができるのか、追及していく。学習はどう活かしていくのか議論・点検し中味を持ち寄って学習していく。



遠距離通勤が解消されていない。長野から松本へ。8月1日松本で東労組から国労加入があった。日頃の世話役活動を進める中で拡大した。

現場で法が守られているか。安全衛生委員会が開催されているか。委員会の内容が掲示されているか。業研で全体で議論されているか。改善

されているか。など調査を実施した。ひとりでも運動ができる取り組みをしている。

検修外注化について職場で学習会を開催している。JALの職場の職場実態を学習、現場見学も実施した。JALでは、乗務員に対し退職を強要している。労基署を活用した取り組みが行われている。

職場では偽装請負になっているのではないが。外注会社では作業責任者はいるが、作業内容がわからない。JRから直接指示がある。請負業者が、打ち合わせとして、直接JRへ作業を聞きに来る。外注会社は、設備など業務に係るものすべてJRのものを使用しているが問題でないか。

多くの意見が出されました。最後に、まとめとして木立議長から、「今回の交流会で改善された報告ができるようになりたい。来年は水戸地本で開催となる。来年は新しい顔ぶれで交流を深めたい」とあいさつがありました。

### 編集後記

今回は運転協の特集になりました。各地方から多くの意見・報告がありました。全て紙面に記載できませんでしたが、できるだけ多くの意見を載せました。参考にしていただければと考えています。

今回の交流会は、水戸地本で開催されます。今回の交流会にも多くの組合員の参加をお願いします。